

神戸製鋼・関西電力 石炭火力発電所建設・稼働差止訴訟 第3回期日（5/28）

2018年9月14日、神戸製鋼、関西電力らを相手に石炭火力発電所の建設・稼働差止めを求め、地元から40名の市民が立ち上がり、提訴しました。大気汚染をもたらし、温暖化を加速させる石炭火力発電は、神戸の環境だけでなく、世界の地球温暖化対策へも逆行するもので、地球環境への影響も懸念されます。

5月28日に第3回の裁判期日が予定されています。
裁判は、どなたでも傍聴することができます。ぜひ傍聴にお越しください。

1.入廷行進

集合場所：神戸地裁正門前14：20（希望される方のみ）

2.民事訴訟 第3回期日

日時：2019年 **5月28日**（火）**15：00**より

場所：**神戸地方裁判所 101号法廷**

（※入場する際に**手荷物検査**があります。傍聴は**30分前から先着順**です。）

3.期日報告会・意見交換会・ミニ学習会

日時：同日 **16：15～17：30**（予定）

会場：あすてっぷKOBE セミナー室1

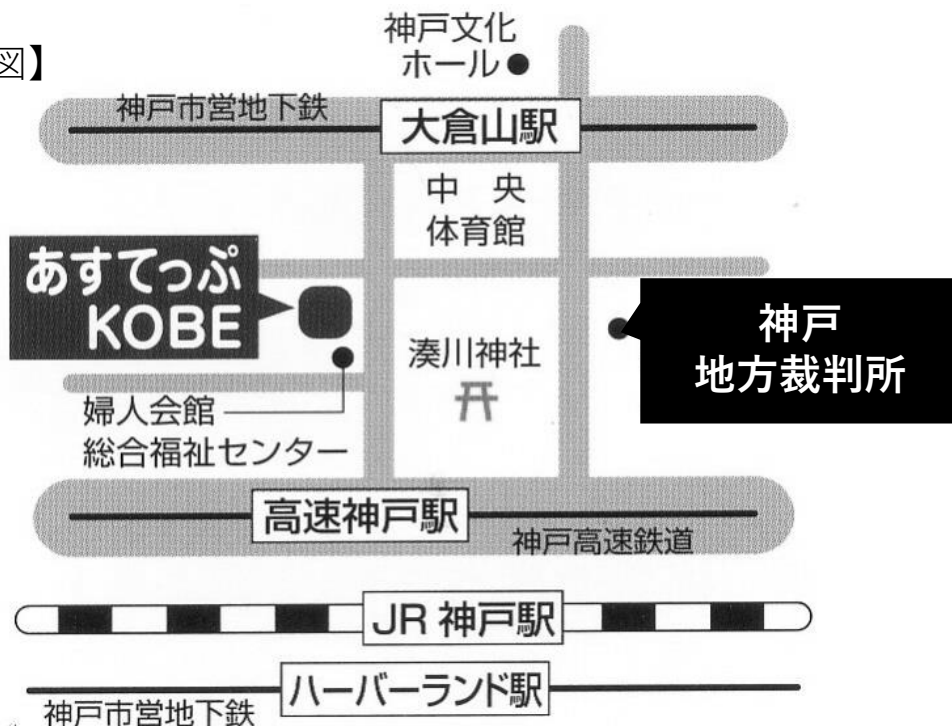
呼び掛け：神戸の石炭火力発電を考える会

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1（神戸学生青年センター内）

TEL：080-2349-0490 MAIL：kobesekitan@gmail.com Twitter：@kobesekitan

Facebook：https://www.facebook.com/kobecalfiredpowerplant/

【周辺地図】



【交通アクセス】

JR神戸線 神戸駅	北へ徒歩7分
神戸高速鉄道 高速神戸駅	北へ徒歩5分
市営地下鉄 大倉山駅	南へ徒歩5分

神戸製鋼が建設を止めるべき3つの理由

①地球温暖化対策に逆行する

神戸製鋼は、既設・新設発電所と合わせて年間あたり合計1400万トン（日本の総排出量の1.3%）のCO2を排出する。同規模の天然ガス火力の2倍。パリ協定のもとで、世界はまず「脱石炭」に向かっている。先進国で新規大規模石炭火力発電所の建設は許されない状況にある。

②再エネ時代において、石炭火力に事業性はない

再エネの割合が増加し、火力がその補完電源となって稼働率が低下すると、固定費の割合が高い石炭火力の競争力は大幅に低下する。地域のリーディングカンパニーとして、世界と地域の未来に対する責任を果たすことを求めたい。

③大気環境の改善途中にある地域に、巨大な汚染源

深刻な大気汚染公害からの環境改善の途上であり、PM2.5、光化学オキシダントの環境基準が一部で達成されていない。大規模な汚染源となる石炭火力発電所を、150万都市神戸の人口密集地域、保育園や小中学校が多数ある地域に建設することは、そもそも、容認されえないことである。

ぜひ神戸の石炭火力発電を考える会 訴訟サポーターに！

子どもたちにつなぐ未来を今つくるために、1人でも多くの方に裁判の目的を知っていただき、社会を変えていきたいと考えています。

ぜひ、サポートをお願いします。

【振込先】

ゆうちょ銀行 口座記号番号：00960-6-276717

口座名：神戸の石炭火力発電を考える会



WEB申込み
QRコード